

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成</p>	<p>生徒・職員の情報活用能力を育成するとともに、ICTを有効活用した学習づくりを行う。</p> <p>学習指導要領の内容が確実に身につくように、地域の教育資源を積極的に活用し、地域の特性を生かした教育課程を編成する。</p>	<p>A</p>	<p>・分かる実感を味わえる授業ができるよう、1回の授業研究会を通して、指導方法の検証をすることができた。</p> <p>・協働学習を位置付け、仲間と練り合うよさを味わわせることができた。</p> <p>・タブレット端末の学習アプリ(スタディサプリ)の有効利用を職員で研修し、生徒の学習に取り入れることができた。</p>	<p>○生徒、先生ともタブレット端末等を活用し、わかりやすい授業になっていた。</p> <p>○タブレット端末を利用することで、教科書では得られない情報が得られてよい。</p> <p>●タブレット端末を忘れた子が学習についていけない。</p>	<p>・協働学習は交流する中身や質を向上させ、見方や考え方を深めていきたい。アウトプットについては、段階的指導を行うようにしていく。</p> <p>・タブレット端末の多様な活用の仕方を生徒・職員で身に付けていくことで、生徒の多様な学びにつなげることができる。職員の活用研修を継続していく。</p>
<p>コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進</p>	<p>支援推進委員会を核に、「虹風づくり・作業学習」「地域貢献」「安全・安心」のために地域と連携し、生徒のためのチーム学校の組織をつくる。</p> <p>地域貢献を柱にした「ボランティア活動」や虹風を柱にした「ぎふMIRAI's」を積極的に推進し、幼小中高の学びの連携を図る。</p>	<p>B</p>	<p>・支援推進委員会やPTAが積極的に学校運営にかかわり、学校の活性化や環境設備の充実を図ることができた。専門委員会「学び(虹風づくり)」が生徒支援に積極的に参画できた。</p> <p>・1年生の総合的な学習の時間は、支援推進委員会「学び部(鏡島凧揚げを楽しむ会)」を講師とし、郷土文化理解が深まった。</p> <p>・小中一貫教育として「協働学習」の教育実践を行うことで、生徒同士で学び合える関係が築かれている。</p>	<p>○凧づくり、凧上げを核として地域と小中高が連携した活動と学びができています。</p> <p>○市橋地区の夏祭りでは、企画、運営にもかかわることにより、自己有用感・自己肯定感の育成につながっている。</p> <p>●市橋まちづくり協議会の活動へのボランティア参加が少なく残念であった。小中一貫教育の観点からも学校と地域が一体となって活動するふれあいフェスタへの中学生の参加を期待したい。</p> <p>●ボランティア活動には参加してくれているが、もっと多くの生徒が参加してくれるとよい。保護者にも伝わっている状態にあるとよい。</p>	<p>・「精華中学校区の子供たちを学校・地域で育てる」ために、学校と地域の協働活動を推進していく。</p> <p>・セイカの時間(総合的な学習の時間)における指導計画を見直し、支援推進委員会やPTAと連携し、地域資源を有効に活用し、地域人材から生き方を学ぶぎふMIRAI'sを編成する。</p>
<p>あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり</p>	<p>協働学習を基盤とした「スマイル活動」を進め、生徒間に安心・つながり、絆を生み出し、思いやりのある学校風土づくりをする。</p> <p>互いに尊重し合い、声をかけ合いカバーし合う雰囲気と職員集団を育成する。</p>	<p>A</p>	<p>・生徒、保護者アンケートでは、楽しく学校生活を送れていると答えたのが、生徒は94%、保護者は90%であった。生徒の自主性を大切にした活動の成果だと思われる。</p> <p>・生徒会が中心になり、スマイル活動や創造的な活動を推進しており、生徒の中でも根付いてきている。</p> <p>・小中合同オンラインミーティングを開催し、3校の児童会、生徒会活動の成果や課題の交流ができた。</p>	<p>○授業において互いに教え合う姿が見られ、とても良い学習環境、校内環境が築かれている。</p> <p>○本年度も「リレーマラソン」に精華中職員チームが参加され、精一杯走られる姿から職員集団の和の大きさ確かさを実感した。保護者、生徒の応援する姿からも温かみのあふれる学校づくりが推進されていることを確認できた。</p> <p>○路上で転倒していた子供に声掛けしている2~3人の生徒さんを見た。思いやりのある風土づくりができていますと感じた。</p> <p>○先生は、生徒一人一人のことをよく見られている。</p> <p>・我々大人が寛大になり、自分自身に魅力を感じ、生きていることは素晴らしいと思える人生を送る姿を子どもたちに見てもらうことが大切。</p> <p>・できていないことを指摘するのではなく、生徒一人一人に寄り添う指導が必要。</p>	<p>・生徒会を中心として、精華中学校の生徒がスマイルになるスマイル活動を充実させる。また、生徒の自主性、創意工夫ある活動を充実させる。</p> <p>・日常の活動や行事の取り組みの中で、仲間との関わり合い、協力、思いやりを生み出す。また、「仲間とともに成長できた」という喜びを実感させる。</p>

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<p>「命を守る訓練」「交通安全・水難事故防止の啓発」等を実施し、自ら命を守る意識を育てる。地域の一員として地域に貢献できるスキルや危機回避能力の育成を図る。</p> <p>-----</p> <p>いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止と早期発見に取り組み、生徒の思いに寄り添った対応を組織的に考え、早期解決に努める。</p>	B	<p>・「命を守る訓練」では、実際に災害が起きた時を想定して訓練を実施することができた。</p> <p>・交通事故(特に自転車事故)に関わる安全指導を継続して行うことができた。</p> <p>・いじめの未然防止のため、いじめ対策監を中心に、組織での対応とともに、温かい人間関係づくりを育む取り組みができた。</p> <p>・生活アンケートや日常の生徒観察などから情報を得るとともに、生徒が安心して生活できるために組織で対応することができた。</p>	<p>学校関係者評価委員会から</p> <p>○中学生が地域の防災訓練に参加している。炊き出し係を担当してもらったが、他団体と連携しながらスムーズに活動し、頼もしく感じた。</p> <p>○地域の防災訓練にボランティアとして参加することにより、地域防災への関心・寄与につながっている。</p> <p>○いじめ防止基本方針を毎年見直し改定されていることが、方針の具現に向け努力していることが理解できる。</p> <p>○担任、学年主任等連携が取れており、個々で対応することなく組織としてしっかり対応できている。</p> <p>●いじめ防止を未然にとは言えず、大なり小なりいじめは存在する。</p> <p>○ICTの効果的な活用に努めている。</p>	<p>改善の方向</p> <p>・「自分の命は自分で守る」意識と行動力向上のため、掃除の時間や昼休みなどいろいろな場面を想定した訓練を教職員も含めて行っていく。</p> <p>・不審者進入時の対応訓練を実施する。</p> <p>・いじめへの取り組みでは、「予防」「早期発見」「よりよい対応」を大切にしている。なかでも、「予防」に重点を置いて取り組んでいく。「いじめを生まない、許さない環境づくり」「よりよい人間関係を育む」指導を充実させていきたい。</p>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<p>安全点検を組織的に実施し、生徒にとって安心・安全で学びやすい教育環境になるよう学校の教育環境の工夫改善を図る。</p> <p>-----</p> <p>ICT(スマート連絡帳、Teams)を活用することで、業務内容をスリム化、学校財務の適切な管理を図る。</p>	A	<p>・安全点検表をもとに、毎月の安全点検を視点をもって実施し、必要に応じて、備品や施設整備を計画的に行うことができた。</p> <p>・産業医による安全衛生委員会が毎月行われ、職場環境の改善のために、職員への指導が行われた。</p> <p>・業務のスリム化に向けて、ICTを効果的に利用することができた。</p>	<p>○ICTの効果的な活用に努めている。</p>	<p>・生徒が学びやすいように環境を整備し、安全・安心を担保することで、落ち着いた学習環境をつくりだす。</p> <p>・校舎内外施設の老朽化もあるので、日常の安全意識を向上させる。</p> <p>・業務の精選については、スリム化の先に授業の充実や生徒の安心、学校への信頼感があるように心掛ける。</p>

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/seika-j/>